



国際会長ニュース

命の川を信じよう

第6号 2020年12月



国際会長 ジェイコブ・クリステンセン

このニュースは、1年を通して、毎月の寄稿記事や最新状況の報告によって、YMI会員の皆さまに情報をお伝えするためのものです。このニュースをお受け取りになった際には、できるだけ多くの会員の皆さまに転送いただければ幸いです。メンバーは、何も受け取らないよりも、重複して2部を受け取る方が良いでしょう。

会員の皆さまへ

国際会長ニュース12月号へようこそ。今号では、今月の2つ強調分野、「キリスト教強調」と「国際ヒストリアン」に加え、恒例の「IHQからのニュース」と「良い話を伝えよう」を掲載しています。私たちは今、12月25日のイエス・キリストの誕生日を祝うアドベント（待降節）に入っています。この4週間の期間は、多くの家庭がクリスマスを待ちわび、クリスマスの前に、そしてクリスマスにお祝いをする時期です。皆さま、ご家族、クラブ、部、区、地域、IHQの皆さまに、**メリークリスマス、ハッピーホリデー、そして新年のご健康をお祈り申し上げます。**来年も神様の目が皆さまと皆さまのお仕事に注がれていますように。皆さまが私の国際会長スローガンの「命の川を信じ」、また、2021年にはトンネルの先に光が見え、新型コロナウイルスパンデミックによる制約を受けずにまた生活できるようになることを祈ります。



ジェイコブ・クリステンセン
2020-21 国際会長

IHQ ニュース-12月

この上半期に、韓国地域で5つ、アジア太平洋地域で3つ、インド地域で3つ、アフリカ地域で1つの12のクラブが国際協会に加盟したことを、喜びを持ってお知らせします。

国際議会は11月中旬に、マニュアル審査委員会から提示された「[国際兄弟クラブマニュアル](#)」と「[国際大会マニュアル](#)」の改定版を承認しました。

2024年国際大会開催地への応募を現在受付中です。開催を検討している区は、国際大会マニュアルの最新版を熟読し、2020年12月31日までに2024年大会開催地選定委員会の委員長であるIPEのキム・サン-チェに、関心がある旨を連絡してください。公式応募は、2021年4月30日までに専用の[オンラインフォーム](#)を使用して提出する必要があります。

今年は、TOF(タイムオブファスト)の食事会の開催が困難なため、TOFプログラムが苦戦することが懸念されています。TOFについての詳細やプロジェクト申請書へのアクセスは[こちら](#)をご覧ください。ワイズメンバーのご家族の皆様には、クリスマス期間中にTOF基金への[特別寄付](#)をお願いしています。

IHQは、12月22日から1月3日まで冬休みとさせていただきます。メリークリスマスそして健康で幸せな新年をお祈りしています。

また、私たちの[Facebook](#)、[Instagram](#)、[YouTubeチャンネル](#)もぜひご覧ください。

(訳注: 青字の個所をクリックすると該当の文書等を読むことができます)

キリスト教強調 12月の強調月間テーマ-歌う天使たち

数年前のクリスマスを覚えています。私は、インフルエンザにかかっていましたが、ベッドに行くほどの病気ではなかったので、仕事をすることはできましたが、歌を歌うことができませんでした。歌わないクリスマス、讚美歌やキャロルに参加しないクリスマス、私にとってはとても不思議なことでした。自分の体がホームレスになったような気分でした。歌いたかった。歌うのが好きでした。だから、家でも、教会でも、他の場所でも、とても苦しかったです。

何ヶ月もの間、私たちは、世界中で新型コロナウイルスの攻撃を受けている状況にありました。集まるための計画を立てるのは困難です。私たちは、特別なイベントやクラブの例会をキャンセルしなければなりません。遠く離れた場所で、一緒に歌わずに会わなければなりません。それは特別で奇妙なことで、私たちが計画していたものでも、望んでいたものでもなく、以前にしていたようなことでもありませんでした。そして、私たちには、次に何が起こるかわかりません。来たるクリスマスをどうやって祝えばいいのか本当にわかりません。家族で集まることができるのか、教会に行ってクリスマスを祝うことができるのか、一緒に歌ってクリスマスを祝うことができるのか。今の私たちにはわかりません。でも、私たちは知っています！

クリスマスはやってくるのです。

クリスマスは、歌う天使たちです。クリスマスへのメッセージは天使たちが歌っています。そのようにクリスマスは始まりました。天使が歌います！私たちは、クリスマスのための歌を、繰り返し、毎年、毎日聞いてきました。何と素晴らしい歌でしょう。クリスマスの福音は天使たちが歌うことで伝えられます。



「恐れるな。

私は、すべての民に与えられる大きな喜びを告げる。
今日ダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。
あなたがたは、産着にくるまって飼葉桶に寝ている乳飲み子を見つける。

これがあなたがたへのしるしである。」

「いと高き所には栄光、神にあれ、
地には平和、御心に適う人にあれ。」

私たちのクリスマスの歌は、イエス・キリストが生まれたときに天使が歌うことから始まりました。それ以来、それは地上と天の主を讚美する私たちの歌となっています。いと高き所の神に栄光がありますように。

カール・ヘルツ・ジェンセン

キリスト教強調国際事業主任

国際ヒストリアン 12月の強調月間テーマ-私たちの歴史を祝して 1947

創立 100 周年を迎えるにあたり、1947 年の創立 25 周年を振り返ってみましょう。世界恐慌と第二次世界大戦を生き抜いてきたワイズメンにとって、この時はまさに祝賀の時でした。国際大会が創設の地、オハイオ州トレドで開催されたのは、この時だけでした。この祝賀会に先立ち、アレキサンダー判事は、カナダのノバスコシア州シドニーを訪



1947 Maritimes Convention at YMCA Camp Barracks

れ、祝賀会の手伝いをしました。1920年代には世界的に新しいクラブが急

速に増加し、その後、恐慌期には減少し、1940年には戦争が起こる前に再成長を遂げました。戦争に巻き込まれた国々では、日本からエストニアまで、素晴らしいクラブが失われました。1947年の大会は、いくつかのクラブの復活と、他の国での新しいクラブの急激な爆発的誕生を祝う時でした。5

大陸 21 カ国から 700 名以上の参加者がトレド YMCA でアレキサンダー判事夫妻によるレセプション、カナ



Accepting Honorary Canadian Citizenship

ダの沿岸区から提供されたロブスターの夕食、動物園の見学、ボードビルショーなどを体験しました。世界各国のクラブが「YMCA ワールドユース」のための募金活動に参加し、約束の 57,000 ドルのうち 42,000 ドルが集まったと発表されました。クラブは、フィリピンを含む戦争で荒廃した国の YMCA の再建について話し合い、支援しました。2022 年にハワイのホノルルで開催される国際大会に向けて、この世界的なパンデミック中で苦勞してきた私たちが再び一緒にお祝いできることを願っています。

デビー・レドモンド 国際ヒストリアン



「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」



アデレードクラブのオープンハウス

アデレード Y サービスクラブは、現在行われている「100 日間会員増強キャンペーン」の一環として、「オープンハウス」を開催しました。直前国際会長のジェニファーとラッセルの自宅で行われ、25 名の参加者が



ターブルを囲んで親睦を深めることができました。クラブメンバーのピーターが上手にバーベキューを作り、参加者は、サラダを持ってきてくれました。9 名の新しい人たちが



この楽しい食事と親睦に参加し、ジェニファーはワイズメンズクラブ国際協会のクラブ会員であることの喜びと満足感、思いがけない驚きと友情について話しました。他の会員たちも、人生の後半に入会した時における、前向きな経験を語ってくれました。これらの新入会員候補者がアデレードクラブの生活と活動にどのような貢献をしてくれるのか、今から楽しみにしています。



直前国際会長
ジェニファー・ジョーンズ

Tell a good story.



アフリカの進歩

トーゴの首都ロメにあった 3 つのクラブは何年も前に解散してしまいましたが、11 月の会員増強会議での努力の結果、ワイズメネットクラブと 2 つのワイズユースクラブを設立することが決定しました。多くの元ワイズメンや YMCA の役員が新クラブへの入会と支援を約束しました。また、新クラブのリーダーが選

出され、チャーター手続きが始まる中、クラブの運営の舵取りをすることになりました。私と一緒にトーゴをワイズメンズクラブ国際協会の



地図に戻しましょう。

ジャタウ・ディリ
アフリカ北西区理事

10 月の 2 日間、ケニア部は、エスター・カモチェ部長のリーダーシップのもと、キトウイに降り立ちました。新しいクラブ、ムトモ Y サービスクラブが、新しいユースクラブのキトウイワイズユースクラブと共に設立され、新メンバーが私たちの運動に入会しました。2 日間の間に、キコテックの繊維工場を訪問し、ワイズメンは、ンギル知事が行っている素晴らしいことを見聞し、朝食とプレゼントをいただきました。その後、チームは、アイザック・カルアの「グリーン・アフリカ」に移動し、またもや素晴らしいツアーと朝食を楽しみました。



日曜日には、メンバーのひとりで、最近、夫を亡くしたアフィア・ムテミを訪問しました。

私たちは、贈り物で愛を示しました。思いやりの心はワイズメンズクラブ国際協会の一部です。

アフリカ地域の Facebook から